

**本質性能にこだわった新エンジン搭載で業務生産性を向上
「imageRUNNER ADVANCE DX」3シリーズなど10モデルを発売**

キヤノンはお客さまの快適なオフィス環境を実現するオフィス向け複合機の新製品として、「imageRUNNER ADVANCE DX（イメージランナー・アドバンス・ディーエックス）」3シリーズ9モデルおよび「imageRUNNER」1モデルを2021年7月16日より順次発売します。



imageRUNNER ADVANCE DX C5870F
*オプション装着時

新製品は、新開発の低融点トナーにより定着温度を下げたことで、業界トップレベル^{※1}の標準消費電力量（TEC₂₀₁₈^{※2}）を実現しています。また、小サイズ紙の出力生産性の向上や、さまざまな静音化の工夫により稼働音の低減を図るなど、複合機としての本質性能を向上させています。加えて、「imageRUNNER ADVANCE DX」シリーズ9モデルはクラウド型MFP機能拡張プラットフォーム「uniFLOW Online」を介して、認証によるセキュアな印刷や集計レポート機能、さまざまなクラウドサービスとの連携などを実現し、業務のさらなる効率化に寄与していきます。

キヤノンは使いやすく高性能な複合機と多彩なデジタルサービスの組み合わせで、オフィス業務のデジタルトランスフォーメーションを強力にサポートします。

■ 業界初^{※3}となる AC100V 電源のコンセント 1 口で毎分 70 枚の高速印刷を実現

低融点トナーの採用により本体の消費電力量を削減しました。従来は出力速度が毎分70枚以上の高速機はAC100V電源のコンセント2口が必要でしたが、最上位機種である“imageRUNNER ADVANCE DX C5870F”はオプション装着時を含め、AC100V電源のコンセント1口で毎分70枚の高速印刷を業界で初めて実現しています。

■ スリープ状態からの復帰時間の短縮や小サイズ紙の出力生産性向上を実現^{※4}

低融点トナーを採用し、定着温度に到達するまでの時間を短くすることで、スリープ状態からの復帰時間を短縮し、速やかな出力を可能にしました。また、定着ユニットの冷却システムを改良し、病院や流通、小売業などでの出力に用いられる小サイズ紙（A5R/B5R）の出力の生産性向上を実現しています。

■ モーター駆動音や通紙中の突発音を低減し静音化に貢献

静音性をさらに進化させ、モーター電流のリアルタイム制御技術により、駆動音や通紙中に紙が部品に当たることで生じる突発音の低減などを図り、オフィス環境に優しい静音性を実現しています。

製品名	希望小売価格（税別）	発売日
imageRUNNER ADVANCE DX C5800/6800 シリーズ	210 万円～	2021年7月16日 より順次
imageRUNNER ADVANCE DX C3800 シリーズ/ imageRUNNER C3222F	135 万円～	2021年10月上旬 より順次

※1 オフィス向けカラー複合機（A4片面、毎分70枚の出力速度）において。2021年7月5日現在。キヤノン調べ。

※2 国際エネルギースタープログラムで定められた測定法による数値。

※3 AC100V電源で稼働するオフィス向けカラー複合機（A4片面、毎分70枚の出力速度）において。2021年7月5日現在。キヤノン調べ。

※4 「imageRUNNER ADVANCE DX C5800/6800」シリーズのみ対応。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0056
● オフィス向け複合機ホームページ : canon.jp/office-mfp

<主な特長>

1. 業界初となる AC100V 電源のコンセント 1 口で毎分 70 枚の高速印刷を実現

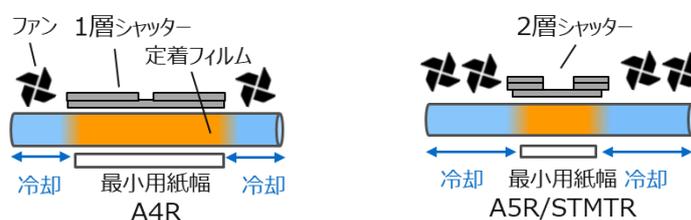
- ・ 溶けやすく、熱に強い新開発の低融点トナーにより、本体の消費電力量を削減。従来、出力速度が毎分 70 枚以上の高速機は AC100V 電源のコンセント 2 口が必要であったが、最上位機種である“imageRUNNER ADVANCE DX C5870F”はオプション装着時を含め、AC100V 電源のコンセント 1 口で毎分 70 枚の高速印刷を業界で初めて実現。
- ・ 電流制御を 1 秒間に約 4 万回行い、モーターに流す電流量をリアルタイムで調整。余剰電流を削減し、従来機種^{※1}と比較して消費電力を約 30%削減。
- ・ これらの省エネ施策により、TEC 値を約 12%削減^{※2}。従来製品と同様に、ブルーエンジェルや国際エネルギースタープログラムといった環境規格に対応。

※1 「imageRUNNER ADVANCE DX C5700」シリーズ (2020 年 6 月発売)。

※2 “imageRUNNER ADVANCE DX C5860F”と「imageRUNNER ADVANCE DX C5760F」(2020 年 6 月発売)の比較。

2. スリープ状態からの復帰時間の短縮や小サイズ紙の出力生産性向上を実現

- ・ 低融点トナーにより定着に必要な電力が削減され、定着温度に到達するまでの時間の短縮化を実現。スリープ状態からの復帰時間を短縮し、速やかな出力が可能。
- ・ 定着フィルムの冷却範囲を拡大するなど、定着ユニットの冷却システムを改良。病院や流通、小売業などでの出力に用いられる小サイズ紙 (A5R/B5R) の出力速度の低下を抑制し、生産性向上を実現。



定着ユニットの冷却システムの新旧比較 (右が新システム)

3. モーター駆動音や通紙中の突発音を低減し静音化に貢献

- ・ モーターに流れる電流量をリアルタイムで制御できる新モーターを採用。振動の原因となる電流量と回転の粗さを改善したことで振動数が減少し、駆動音の静音化を実現。
- ・ 反転部のセンサーフラグに対して紙の当たる角度の変更や消音材を追加し、通紙中に紙が部品に当たることで生じる突発音を低減。オフィス環境に優しい静音性を実現。

4. 消耗部品の改善によりアフターサービスの負荷を軽減

- ・ 定着器やドラムなどで使われるビスを大幅に削減し、消耗部品の交換に要する時間を短縮。工具を使わずに交換でき、交換作業における効率を向上。

5. クラウド型 MFP 機能拡張プラットフォームとの連携で業務効率化に貢献

- ・クラウド型 MFP 機能拡張プラットフォーム「uniFLOW Online」と連携することで、認証によるセキュアな印刷、集計レポート機能、外部クラウドサービス^{※1}へのスキャン送信などのドキュメント管理機能を強化。
- ・クラウド上のフォルダへのスキャン文書自動振り分け^{※2}や、領収書から自動抽出したデータのクラウド型経費精算システム^{※3}・財務会計システム^{※4}への転記など、さまざまなクラウドサービスとの連携を実現。業務のさらなる効率化に貢献。
- ・「uniFLOW Online」と「せいとんファクス for MEAP ADVANCE」を組み合わせることで、複合機に受信したファクス文書を各種クラウドサービスに転送することが可能^{※5}。

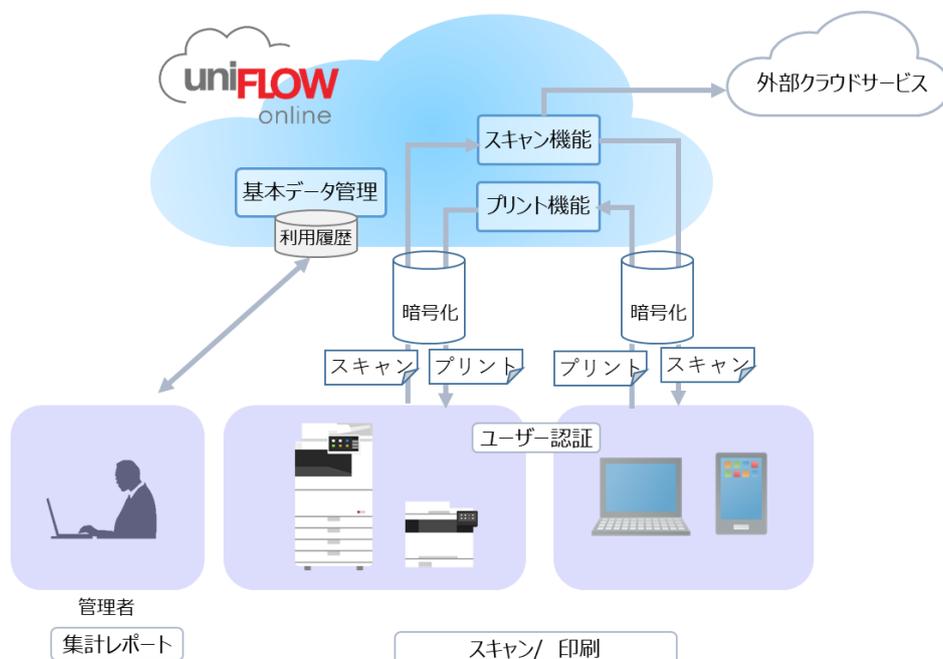
※1 対応するクラウドサービスは、HOME-BOX2、box、Dropbox、Google Drive、Microsoft Teams、OneDrive/OneDrive for Business、SharePoint Online、Evernote。

※2 「uniFLOW Online Cloud Scan Advance」(2020年7月提供開始)の契約(有償)が必要。

※3 「uniFLOW Online Cloud Scan Advance」(2020年7月提供開始)および「楽楽精算」(株式会社ラクス提供)もしくは「Concur」(株式会社コンカー提供)の契約(いずれも有償)が必要。

※4 「uniFLOW Online Cloud 会計処理アシスト」(2021年6月提供開始)および「勘定奉行クラウド」(株式会社オービックビジネスコンサルタント提供)の契約(いずれも有償)が必要。

※5 “imageRUNNER C3222F”は非対応。



uniFLOW Online のシステム構成図

6. 従来機種からさらなる小型・軽量化を実現し環境への負荷を軽減

- ・「imageRUNNER ADVANCE DX 6800」シリーズは、「imageRUNNER ADVANCE DX C5800」シリーズとハードウェアを共通化。従来機種^{※1}では非対応だった胴内排紙が可能になり、専有面積を約 15%縮小。また、約 95kg の軽量化も実現。
- ・“imageRUNNER ADVANCE DX C3835F”は、「imageRUNNER ADVANCE DX C3700」シリーズ(2020年6月発売)をベースとしたハードウェアに変更し、従来機種^{※2}に対して専有面積を約 15%縮小。また、約 38kg の軽量化も実現。
- ・機器の小型・軽量化により、原材料として使用するプラスチックなどの材料を削減。資材調達やお客さまへの本体出荷など、輸送時の CO2 削減に貢献。

※1 「imageRUNNER ADVANCE DX 6700」シリーズ(2020年6月発売)。

※2 「imageRUNNER ADVANCE DX C5735F」(2020年6月発売)。

<複合機の市場動向>

業務の自動化／省力化によるオフィスの働き方改革の動きが加速する中で、文書の共有や管理のための電子化を高速かつ高品質に実現する複合機へのニーズも高まっています。複合機市場の2020年の出荷台数は国内で約51万台、全世界で約396万台でした。(キヤノン調べ)

<モデル別機能一覧表>

製品名※	希望小売価格 (税別)	連続複写速度 (A4 ヨコ) カラー／モノクロ	ADF (自動原稿送り装置)	ファクス
iR-ADV C5870F	300 万円	70 枚／70 枚	両面同時読み取り	○
iR-ADV C5860F	270 万円	60 枚／60 枚		○
iR-ADV C5850F	250 万円	50 枚／50 枚		○
iR-ADV C5840F	210 万円	40 枚／40 枚		○
iR-ADV C3835F	180 万円	35 枚／35 枚		○
iR-ADV C3830F	165 万円	30 枚／30 枚		○
iR-ADV C3826F	135 万円	26 枚／26 枚	両面反転読み取り	○
iR-ADV 6870	280 万円	一枚／70 枚	両面同時読み取り	オプション
iR-ADV 6860	230 万円	一枚／60 枚		オプション
iR C3222F	オープン価格	22 枚／22 枚	両面反転読み取り	○

※ iR-ADV は imageRUNNER ADVANCE DX、iR は imageRUNNER の省略表記。

<主な製品仕様>

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

- * box は Box, Inc.の商標または登録商標です。
- * Dropbox は米国 Dropbox, Inc.の商標または登録商標です。
- * Evernote は米国 Evernote Corporation の商標または登録商標です。
- * Google Drive は Google LLC の商標です。
- * Microsoft Teams、OneDrive、SharePoint は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- * 「楽楽精算」は、株式会社ラクスの登録商標です。
- * Concur は米国 Concur Technologies, Inc.の商標および登録商標です。
- * 「勘定奉行」は、株式会社オービックビジネスコンサルタントの登録商標です。